報道各位
プレスリリース

静嘉堂 SEIKADO BUNKO ART MUSEUM
静嘉堂@丸の内

2024 年　6月吉日

「超・日本刀入門 revive―鎌倉時代の名刀に学ぶ」
2024年6月22日（土）～8月25日（日）

かつて世田谷岡本にて人気を博した「超・日本刀入門」が帰ってきました！

武士の魂と呼ばれた日本刀は、およそ 1000 年の歴史のなかで、武器として用いられ、美術品として鑑賞されてきました。刀剣ブームがすでに定着した今、「全部同じに見える」「どこを見ればいいのか分からない」なんて今さら言えない・・・、あるいは「カタナの基本を見直したい」という、そんなアナタに贈る入門編です！

丸の内で初の刀剣展となる本展では、館蔵の国宝・重要文化財刀剣 9 件をはじめとして、「日本刀の黄金時代」と称される鎌倉時代を中心に、平安～南北朝の古名刀を特集します。さらに特別公開として鎌倉時代の仏像の名品、重要文化財「木造十二神将立像」7軀も一堂に会します。

【開催概要】

- 会　　期：2024 年 6 月 22 日（土）～8 月 25 日（日）　※会期中一部展示替えあり
- 会　　場：静嘉堂@丸の内（明治生命館 1 階）
  〒100-0005　東京都千代田区丸の内 2-1-1 明治生命館 1 階
- 休 館 日：毎週月曜日（ただし 7 月 15 日・8 月 12 日は開館）、7 月 16 日（火）
- トークフリーデー：8 月 13 日（火）
- 開館時間：午前 10 時～午後 5 時
  （毎週土曜日は午後 6 時まで、第 3 水曜日は午後 8 時まで）
  ※入館は閉館の 30 分前まで
- 入 館 料：一般 1,500 円　大高生 1,000 円　中学生以下無料
- 問い合わせ：TEL 050-5541-8600（ハローダイヤル）
- ホームページ：https://www.seikado.or.jp
- X：@seikadomuseum
- Instagram: seikado_bunko_artmuseum
- 主　　催：静嘉堂文庫美術館（公益財団法人静嘉堂）

＜本展3つのみどころ＞

① 手掻包永、新藤五国光、名物日置安吉…所蔵の国宝・重文刀剣 9 件すべてが揃い踏み！
② 織田信長・滝川一益・直江兼続 etc.…戦国武将たちの名刀
③ 重要文化財「木造十二神将立像 七軀」（鎌倉時代）を特別公開！

① 手掻包永、新藤五国光、名物日置安吉…所蔵の国宝・重文刀剣 9 件すべてが揃い踏み！

静嘉堂所蔵の刀剣は約 120 振、そのうちには国宝 1 件、重要文化財 8 件が含まれています。

国宝《太刀　銘 包永》、重文《太刀　銘 国光》、重文《太刀　銘 宝寿》、重文《太刀　銘 安綱》、重文《太刀　銘 髙綱》、重文《太刀　銘 行光》、重文《太刀　銘 五月六日友成》、重文《小太刀　銘 真長》、重文《短刀　銘 安吉》の国指定刀剣 9 振すべてが、静嘉堂@丸の内で初めて一堂に会します！

広報画像 1　健全なる「大和魂」、国宝包永

国宝　手掻包永《太刀　銘 包永》　刃長 73.0cm　鎌倉時代（13 世紀）

包永は、大和国最大の刀工集団・手掻派の祖で、奈良東大寺轅礎門（てんがいもん）前に住したという。本刀は、大和物らしい鎬（しのぎ）高く反り高い姿と柾目（まさめ）の鍛え肌、直ぐ調で二重刃がかり、華やかな変化に富む刃文が特色。正応年間（1288～93）頃に活躍した初代の稀有な在銘作であり、700 余年の時代を感じさせない健全な出来は、まさに大和物を代表する名作である。大正・昭和期の知る人ぞ知る愛刀家・赤星鉄馬旧蔵の一振。

広報画像 2　沸（にえ）の銀河を宿す太刀

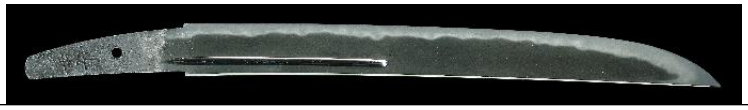
重要文化財　新藤五国光《太刀　銘 国光》　刃長 74.2cm　鎌倉時代（13～14世紀）

相模の刀工・新藤五（しんとうご）国光は、刀剣書に京の名工・粟田口国綱の子と伝えられ、備前から鎌倉に移住した刀工・備前三郎国宗について学んだという。相州伝の始祖とされ、弟子の行光やその子正宗によって相州伝が完成された。粟田口風の気品高い本作は、短刀の名手とされる国光の極めて稀な太刀で、生ぶ（制作当初の姿を保っていること）の完存した姿である点においても貴重である。

広報画像 3　日置豊前守（へきぶぜんのかみ）所持・前田家伝来の名物「日置安吉」

重要文化財　左安吉《短刀　銘 安吉（名物日置安吉）》　刃長 29.5cm　南北朝時代（14 世紀）

日置豊前守忠俊（へきぶぜんのかみただとし）（1571～1641）は岡山藩家老。池田輝政・利隆・光政の 3 代にわたって仕えた。本刀は、江戸幕府 8 代将軍徳川吉宗のときに本阿弥家によって編纂されたといわれる『享保名物帳』所載の「名物刀剣」の一振で、幅広く力強い姿と緻密で美しい地鉄（ぢがね）が特徴。



② 織田信長・滝川一益・直江兼続 etc.…戦国武将たちの名刀

刀匠をはじめとする多くの職人たちの手を経て生み出され、数百年の時をこえて今に伝わる古い日本刀は、名だたる武将たちの愛刀となり、戦陣においてサムライたちの心を奮い立たせてきました。静嘉堂には皆様ご存じの有名戦国武将から、知る人ぞ知るマニア好みの武将まで、彼らの所持した刀が伝わっています。本展では、そのうち代表的な 6 振を出品いたします。

広報画像 4　信長公より拝領の朱鞘の太刀、「滝川高綱」

重要文化財　古備前高綱《太刀　銘 高綱》　刃長 66.1cm　鎌倉時代（12～13 世紀）

附 《朱塗鞘打刀拵》 桃山時代（16 世紀）

「滝川高綱」の太刀は、織田家重臣で織田四天王のひとり、滝川一益（たきがわかずます）（1525～1586）が主君織田信長より賜ったものという。附帯する朱鞘の打刀拵は、戦国時代末期の様式を伝える希少な作例。この拵の頭金具には、「織田木瓜」の家紋とともに、信長が永禄 11 年（1568）に将軍・足利義昭より拝領した「桐紋」が配されており、また鐔は五七の桐の透かし文様であることから、信長の注文で作られたものと考えられている。

広報画像 5　「愛」の武将・直江兼続へ贈られた秀吉の形見

伝 長船兼光《刀　大磨上げ無銘（号　後家兼光）》　　刃長 80.0cm　南北朝時代（14 世紀）

附　渡邊桃舩《芦雁蒔絵鞘打刀拵》 明治時代（19 世紀）

直江兼続（なおえかねつぐ）（1560～1619）は上杉景勝の重臣で、「愛」の前立の兜で知られる武将。豊臣秀吉から特に気に入られ、大名の家臣（陪臣）でありながら遺品として本刀を賜った。兼続没後は未亡人のお船の方から主家の米沢藩主上杉家へと献上された。米沢藩は幕末維新期の戊辰戦争の際、佐幕派の「奥羽越列藩同盟」に加わって官軍に抵抗し敗れるが、姻戚関係にあった土佐藩の助力により、比較的軽い処分で済んだことから、その礼として本刀が土佐藩主山内家へ贈られたと伝えられる。

広報画像 6　イケメン大名・本多平八郎の所持銘入り

一文字守利《太刀　銘 守利 （金象嵌）本多平八郎忠為所持之》　　刃長 81.2cm　鎌倉時代（13 世紀）

守利は弘長年間（1261～64）頃の福岡一文字派の刀工という。本作の豪壮な姿や、杢目鍛（もくめぎた）えで乱れ映（うつ）り入りの地鉄、丁子乱れの華麗な刃文には、最盛期一文字派の特色が発揮されている。この太刀に金象嵌の所持銘をのこす本多平八郎忠為（忠刻、1596～1626）は、播磨姫路新田藩の初代藩主。徳川四天王の中でも武勇で名高い本多平八郎忠勝（1548～1610）の孫にあたり、眉目秀麗で知られた。本作と同様に金象嵌で忠為の所持銘を入れた豪壮な太刀が他に 3 振程確認され、忠為が人並秀れた偉丈夫で、刀の鑑識にも優れた武将であったことが想像される。

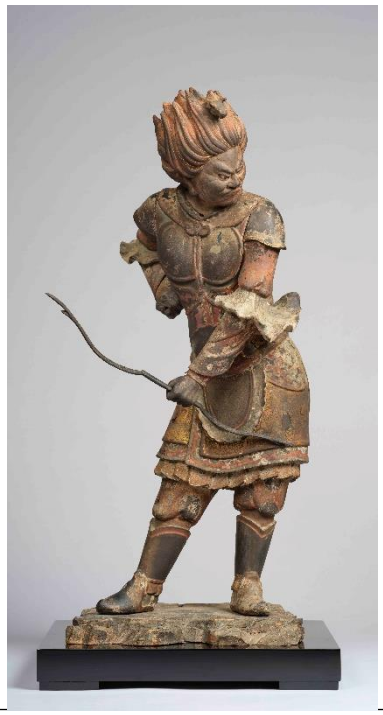
③ 重要文化財「木造十二神将立像 七軀」(鎌倉時代)を特別公開！

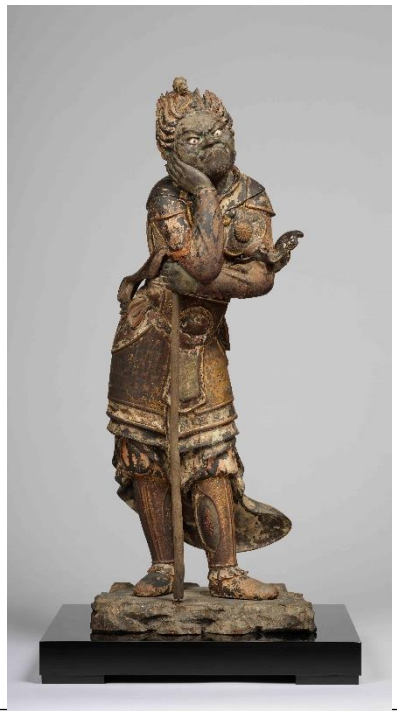
鎌倉時代を中心とする名刀の特集にあわせて、鎌倉武士たちにも支持された慶派仏師による作とされる《木造十二神将立像》の静嘉堂所蔵の 7 躯を一挙公開します！

広報画像 7･8

慶派《木造十二神将立像》のうち　丑神像･午神像　　鎌倉時代･安貞 2 年(1228)頃

京都の名刹、浄瑠璃寺の薬師如来坐像の眷属として制作された十二神将像。現在静嘉堂ではそのうちの 7 躯を所蔵する。頭上に十二支の動物を戴く生き生きとした作風で、表面を覆う精緻な截金(きりかね)や彩色など制作当初の装飾をよく残している。近年行われた解体修理の過程で、「亥神像」頭部内に「あんてい二」(安貞 2 年)の文字を含む墨書が発見され、作者は仏師･運慶(？～1223)の子息など周辺の仏師と推測されている。





◎ほかにも！将軍家に仕えた金工･後藤家の刀装具を紹介

広報画像 9　剛勇の武人金工が魅せる超絶技巧

伝 後藤乗真《十二支図三所物》 室町時代(16 世紀)

後藤宗家三代乗真(1505 あるいは 1512～62)は、二代宗乗の長男。足利義晴と義輝の二人の将軍に彫金と財政業務を兼ねた側近として仕えた。永禄 5 年(1562)、所領の近江国坂本を浅井氏に侵攻され、琵琶湖岸にて戦死。剛勇の性格を有した乗真の作品は、大振りで力強く、額面いっぱいに彫るのが特長とされ、在銘作は極めて稀少。本作は無銘だが、小さな画面に十二支の動物が細密に彫り込んだ構成力も見どころのひとつ。

＜ PC ブラウザ＆スマホアプリゲーム『刀剣乱舞 ONLINE』との コラボ決定！＞

広報画像 10
『刀剣乱舞 ONLINE』
©2015 EXNOA
LLC/NITRO PLUS

＊コラボその1： 刀剣男士「後家兼光」の等身大パネルが登場！

＊コラボその2： ミュージアムショップに展覧会のためのオリジナルコラボグッズが登場！

W 後家兼光スティックキーホルダー
1,500 円（税抜）

A4 クリアファイル 後家兼光
600 円（税抜）

缶バッジ 後家兼光
（サイズ ⌀76mm）
500 円（税抜）

※商品画像はイメージです。
※販売にあたり、購入制限を設けさせていただく場合がございます。
※グッズは会期終了後、通販を予定しております。

＊コラボその3： 貸切ナイトミュージアムイベントを開催！

【いざ丸の内！静嘉堂×刀剣乱舞 ONLINE ナイトミュージアム―おっきい こんのすけと刀剣を学ぼう！】

閉館後の美術館で、刀剣乱舞 ONLINE 宣伝隊長の
おっきい こんのすけと一緒に、刀剣を観て、学んで、楽しんでください！
［日時］
第 1 回：7 月 27 日（土） 18:30～20:30（18：20 受付開始）
第 2 回：8 月 11 日（日） 17:30～19:30（17：20 受付開始）

＜その他　関連イベントなど＞

＊「超・日本刀入門 revive」展 音声ガイド

©Ryuji Hashimoto

声優・福山潤さんがご案内！

＜ナビゲーター＞
福山潤さん（声優）：（刀剣乱舞 ONLINE 後家兼光役）など、多数。
ご利用料金：　700円（税込）

＊学芸員によるスライドトーク
［日時］6 月 30 日（日）、7 月 13 日（土）、7 月 27 日（土）、8 月 11 日（日）　各回 11 時～
［会場］ 明治安田ギャラリー　（明治安田生命ビル低層棟1F）
［定員］30名
［参加費］無料（但し当日の入館券が必要）
※参加方法の詳細は当館ホームページにてご案内いたします。

＊トークフリーデー
8月13日（火）はトークフリーデーとして特別開館！おしゃべりしながら作品鑑賞を楽しみましょう。

＊出品の全刀剣がスマホで撮影 OK！
※曜変天目は撮影できません

【報道に関するお問い合わせは】
◆静嘉堂文庫美術館 広報事務局（共同 PR 内 担当：三井）
※在宅勤務も増えているため、メールでいただけると助かります。
E-mail：seikado-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382
〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1　銀座松竹スクエア 10F
◆静嘉堂文庫美術館　E-mail：press@seikado.or.jp（広報担当：大森）